



TOUR

推薦出場の山内日菜子が 下剋上優勝を起こした 要因とは何なのか？

トレーニングと技術の 両面で実力差が減少

今季のQTランク181位と、レギュラーツアーだけでなくステップ・アップ・ツアーの出場権も持たない山内日菜子(28歳・プロ7年目)が、推薦出場したアクサレディスでツアー初優勝。『下剋上優勝』として話題となった。また、その翌週のヤマハレディスでは、シード権がなくQTランク65位の鶴岡果恋(23歳・プロ5年目)が最終日を単独トップで迎え、2週連続の推薦出場者の優勝かと注目された(最終結果は13位)。なぜ、昨年まで主戦場が下部ツアーだった選手が一気に優勝争いに加わるようになったのか。その背景を石井忍プロコーチに聞いた。

「女子ツアーは全体のレベルが上ががり、選手層も厚くなっています。平均ストロークの差が縮まっているのがその証



ステップ・アップ・ツアーでの出場権も少なかったという山内。今後も彼女のような存在が出てくる可能性は大いにありそうだ(写真/ Getty Images)

拠。レギュラーツアーの出場権がなくとも、出場さえすれば十分に戦えるレベルにある選手が増えていると思えますね。近年はプロコーチがさまざまな最新機器を使って正しい理論を伝えるため、上達スピードが上がっています。コーチング面でレベル差が少なくなっているのが要因の一つでしょう」

たしかに全体の平均ストロークは

TOPICS

ふるさと納税自販機が拡大中 導入4か月で1000万円の 寄付金を集めたコースも登場

ゴルフ場もゴルフアームも 自治体もお得で大喜び！

最近、全国のゴルフ場に広がり、存在感を高めているのが、ふるさと納税の自動販売機。製造元のグローキアアップによれば、「全国に40数台(4月6日時点)。北海道、九州、四国と、本州以外のゴルフ場に広がっています」。

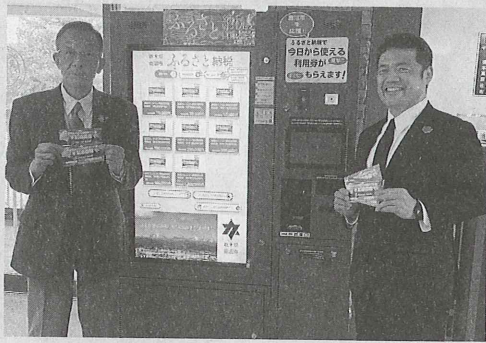
2012年の72・981から22年は72・139へと減り、平均ストロークの1位と85位の差も12年4・4打、22年3・2打と、レベル差が縮まっている。また、07年から女子プロを指導する菅原賢トレーナーによれば、

「10年前と比べて全体的に基礎体力が上がっています。全員が専門的なトレーニングを受けるので、運動能力差がなくなっているのも事実。私が女子ツアーに参入した07年当初、専門的なトレーニングを行うのは20〜30%程度

で、柔軟性を高めるストレッチやケガのケアが中心でした。それが現在では、体幹や筋肉を鍛えるのと同時に筋肉の動きをスイングと連動させる機能的なトレーニングが主体。より実践的なメニューが中心なので、全体のレベルを底上げしていると思います」

技術と筋力の両面で底上げされて全体のレベルが上ががり、さらに層も厚くなっているという女子ツアー。今後山内のような『下剋上優勝』が出現するのかが離せない。

そんな中、昨年12月に栃木県内で初めて導入されたのが鹿沼カントリー倶楽部の自動販売機。タッチパネルの操作により8種類(1万円、3万円、5万円、10万円、20万円、30万円、50万円、100万円)のメニューからふるさと納税金額を選び、クレジットカードで決済。寄付金額の3割に相当する金額のゴルフ場利用券が受け取れる。



鹿沼カントリー倶楽部に導入されたふるさと納税自動販売機。左は鹿沼市・佐藤信市長、右は鹿沼グループの福島範治社長(写真提供/鹿沼グループ)

有効期限は発効日から1年間で、寄付当日にクラブハウスフロントの会計で利用することも可能だ。後日、鹿沼市からは寄付金受領証明書が送られてくるため、2000円は自己負担になるが、それを超えた部分の控除に利用できる(※)。ゴルフであればふるさと納税の自動販売機のお得感を直に享受できるのは確かだ。

だが、メリットを享受できるのは、ゴルフアールだけではない。鹿沼CCの自動販売機は昨年の12月に導入されると、設置1か月で約800万円の寄付金が集まり、年度末までの4か月では約1000万円に上った。寄付金はクレジットカード会社を経由し、その5割が鹿沼市に入る。

残りの5割のうち3割が返礼品。ゴルフ場の利用券だからコース側の収益

となり、残りの2割が手数料や事務経費となる。通常ゴルフアールが支払いをする際に、コース側が負担しているカード会社への手数料が行政側の負担というのもコース側にはうれしい。

ゴルフアールが住んでいる場所の自治体の収入は、その分だけ当然減る。しか

COURSE

後続組を気にせずプレーできる「お先にどうぞフラッグ」が実施スタートから好評!

初心者や高齢者でも慌てずにプレーを楽しめる

プレーファストの推奨で、 HALF 2 時間10分以内でのラウンドを求めるコースが多い。しかしさまざまな事情により、そのペースでは回れないという組があるのも事実。後続組からの無言のプレッシャーを感じながらのプレーだと、楽しさも半減してしまう。

そんな人たちが安心してプレーできるサービス(無料)を北武蔵CC(埼玉県)が今春から導入し、好評を博している。それは「お先にどうぞフラッグ」という表示をカート後方に付けて、後続組をパスしやすくするというもの。

し現状、ゴルフアール、ゴルフ場、自治体をハッピーにしているふるさと納税自動販売機は、まだまだ増えていきそうだ。(日本ゴルフジャーナリスト協会会長・小川朗)

※住宅ローン控除などを受けている場合、控除額の上限が異なることもあるので、詳しくはお住まいの市区町村にご確認ください。

茶店での休憩やティーイングエリアで「お先にどうぞ」とすれば、お互いにとつて心理的なストレスがなくなる。

小山龍一支配人に実施に至った経緯を聞くと、「以前、アメリカでプレーしたとき、カート道路の所々にバス停みたいなスペースがあり、年配のご夫婦が後続組をパスさせていたのを見ました。セルフプレーでも後続組を気にせずに回りたいという声をいただいていたので、それをヒントにしたんです」という。自走式カートならではのサービスだが、「スタート順に回りきる必要はないのではないか?」と決断した柔軟性も素晴らしい。

年配なので早く歩けない、初心者が



「お先にどうぞフラッグ」の案内と、実際にカートに取り付けたフラッグ(写真提供/北武蔵CC)

～全てのプレーヤーが快適に～

「お先にどうぞ」フラッグ導入

HALF 2 時間10分ペースでの進行に自信がない方や、後続組を気にせずプレーしたい方、プレー中に休憩しながらゆっくり回りたい方へ

このフラッグをつけてみませんか?

追い越しOK! 次のインターバンで追い越してください

詳しくはスタート室スタッフまで

北武蔵カントリークラブ

いる、ケガから回復したばかり、といったゴルフアールにとっては、ありがたいサービス。キャディマスター室に「お先にどうぞフラッグ」の利用を申し出るだけでいいのでお手軽だ。利用者からまずで、「後続組を気にせずラウンドできてよかった」、「桜を見ながら茶店でゆっくりできた」などの声をもらっているという。

「夏の酷暑対策にもいいのでは、と思っています」(小山支配人)。中高年が熱中症で倒れる事案が多くなりつつある昨今、「お先にどうぞフラッグ」は有効だろう。同様のサービスは全国でもまだまだ少ない。このサービスが広がれば、老若男女がよりプレーを楽しめるようになりそうだ。